

●あなたの声を町政に反映させるには (表2)

「町民意向調査」などにより、意見や希望を反映させる	258人
各種団体(町内会・農業団体など)を通じて働きかける	222
町議会議員や町職員にたのむ	125
「行政懇談会」や「町長と話をする会」などの場を利用する	119
直接自分で役場へ話をする	73
住民運動などを通じて働きかける	65

●力を入れてほしい施策ベスト10 (表3)

生活排水の処理対策に力を入れる	416人
無秩序な開発を抑制し、計画的な町づくりをすすめる	396
航空機騒音・落下物対策に力を入れる	270
工業団地を造成し、工業の振興を図る	231
公園を整備して、くつろぎの場づくりに力を入れる	218
商店を近代化し、商業の振興を図る	185
救急・予防など保健医療を充実させる	174
農業基盤を整備し、農業の振興を図る	154
観光・レクリエーションの振興を図る	104
老人・母子・低所得者などへの福祉対策を充実させる	93

◆半数以上の人が留守をたのみ合ったり、家族同志でつき合ったりしています。農村地区ほどこの割合は高くなっています。しかし反面「挨拶をする程度」が半数近くもあり、都市型の傾向もうかがえます。

●近所の人たちや地域の団体で共同作業を行う場合、どのような立場をとりますか。

すんで協力する……39%
求められれば協力する……51%
協力したいが人手がないので協力できない……9%
協力しない……1%

◆9割の人が共同作業に協力すると回答しており、コミュニケーション意識は高いといえますが、「求められれば協力する」といった消極的な意見が半数以上を占め、

行政情報は広報紙から

V 町政との関わり

(1) 生活意識

●2～3年前に比べて生活環境はどう感じていますか。

良くなっている……26%
変わらない……60%
悪くなっている……9%
わからない……5%

●2～3年前に比べて暮らし向きはどうなっていますか。

楽になっっている……11%
変わらない……56%
苦しくなった……30%
わからない……3%

◆生活環境「暮らし向きとも」変わらない」とする人が半数以上を占めています。生活環境については「良くなっている」と感じている人、暮らし向きについては「苦しくなった」と感じている人がそれぞれ3割ほどあり、好対照を見せています。

平均的な考え方になっているようです。

●町内会や行事に参加している地域の団体・組織はありますか。

町内会・部落会……29%
PTA・保護者会……9%

消防団……8%
子ども会……8%
婦人会……8%

◆町内会など区の組織が他を大きく引き離して、コミュニティ活動の中心となっています。

(2) 広報紙

●町の広報をどの程度読んでいますか。

すみずみまで全部読む……40%
必要なところだけ読む……35%
目をとすだけ……21%
ほとんど読まない……4%
ほとんど読まない人はわずか4セントと、ほとんどの人が広報紙を読んでいます。すみずみまで読む人が4割もあり、行政の情報を広報から得ている人が多いことがわかります。

(3) 意見反映の手段

●あなたの声を町政に反映させるには、どうしたらよいと思いますか。

(表2)

町民意向調査などにより……29%
各種団体(区など)を通じて……25%
議員や職員に頼む……14%
行政懇談会などを利用……14%
自分で直接話をする人は少なく、アンケート調査や団体を通じて意見を反映させたいと考える人が多いようです。

(4) 力を入れてほしい施策

●町の施策の中で特に力を入れてほしいものは何ですか。(表3)

生活排水の処理対策	43%
計画的な町づくり	41%
航空機騒音対策	28%
工業団地の造成	24%
公園の整備	22%
商店街の近代化	19%
(複数回答のため、合計は百セントになりません)	

以下、「保健医療の充実」「農業の振興」「観光レクリエーションの振興」等と続きます。

◆力を入れてほしい施策の1位は「生活排水対策」、次いで「計画的な町づくり」で、それぞれ4割を超える人が要望しています。また、航空機騒音対策、工業団地、公園整備と、町が重点施策として取り組んでいる事業も、多くの町民の皆さんが望んでいることがわかります。



恵まれた自然を代表する栗山川